



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2022.4.27(No.3117)
週報 No. 30

ロータリーを学び、
ロータリーを広げよう

第2560地区ガバナー／高尾 茂典
会 長／ 歸 山 肇
会長エレクト／西山 徳 芳 (クラブ奉仕A)
副 会 長／若槻八十彦
幹 事／五十嵐博宣
S A A／船 越 良 則
会 計／渡 辺 良 一
直 前 会 長／野崎喜一郎
会長ノミニー／吉 井 直 樹 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■ 本日の出席会員数:57名中42名
■ 先々週出席率:96.49%

【ゲスト】

・三条信用金庫 地域経済研究所
所長 高橋 敦 様

【先週のメークアップ】

- [4.21] 三条東RCへ
・中村和彦さん、五十嵐博宣さん
- [4.23] 三条ローターアクトクラブ
50km清掃活動へ
・相場弘介さん、明田川賢一さん、
・安達俊明さん、五十嵐博宣さん、
・衛藤泰男さん、荻根澤隆雄さん、
・小越憲泰さん、落合孝夫さん、
・歸山 肇さん、小林卓哉さん、
・渋谷政道さん、滝沢亮さん、
・外山浩玲さん、中條克俊さん、
・中林順一さん、西山徳芳さん、
・船越良則さん、松永一義さん、
・松永隆夫さん、柳取崇之さん
- [4.23] 第2回全国RA委員長及び
RA代表合同会議(オンライン)へ
・相場弘介さん
- [4.23] 地区RA会長幹事会議へ
・相場弘介さん
- [4.25] 三条南RCへ
・松永隆夫さん、斎藤弘文さん

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
2021～2022年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

歸山 肇 会長



本日は三条信用金庫地域経済研究所の高橋理事より卓話をしていただきます。よろしく願いいたします。

実は私は、高橋さんが三条信金大崎支店の支店長の時、大変お世話になりましたし、私自身も気を楽しましてお話をさせていただいた方なので、機会をつくって

卓話をお願いしたいと思っておりましたので、本日は受けていただいてうれしく思っています。当然、地域の経済の話ということになると思いますが、短い時間ではありますが楽しみにしています。

さて本日の話ですが、今現在私の仕事をとりまく状況を少しだけ話したいと思います。

私の仕事は、鉄工所で機械加工を主体にして、産業機械の部品を作っているのが主なのですが、もっとわかりやすく言いますと鉄を削るのが仕事です。したがって狭い世界ですが、今現在、忙しいか暇かと問われたら、コロナ感染の影響の始まった頃に比べたら大変忙しくさせていただいている状態ですのでありがたいことであると思っておりますが、困ったことに今は、昨年からはまった原材料、主には鉄の値上げです。頻度の多さと値上げ幅の大きさ、当然製品価格の値上げということになるわけで、ざっくりですが、2021年当初の50%アップです。まだまだ価格が上がるとの話ですが、当然価格を上げることができなければその分マイナスになる

わけですので、さすがに昨年のことをいえば、お客様の大多数からは値上げは認めてもらいましたが、今回の特別な経費増それだけではないのもっと多岐にわたって値上げはあるわけなので、問題多しと思っています。簡単な話としては、儲けが少ないということです。

その他に今年に入ってからコロナによる影響の他に、ロシアとウクライナ紛争です。これも私どもが使用しているヨーロッパから輸入している切削工具の品薄の状況、当然いつでも手に入るものが手に入りにくいなど信じられない状況が続いていますが、高橋さんからの話の中で、他業種もみな関連していますので、これからの景気状況の参考にさせていただきたいと思います。

以上です。

野水靖之さん

あたたかく、良い気候になりました。

春もニコニコ頑張ります。

五十嵐博宣さん、渡辺勝利さん、斎藤弘文さん、
五十嵐晋三さん、石橋育於さん、小越憲泰さん、
高橋 司さん、近藤雄介さん、荻根澤隆雄さん、
杉山幸英さん、中林順一さん、金子俊郎さん、
松永一義さん、小出子恵出さん、関川 博さん、
丸山行彦さん、西山徳芳さん、中村信一さん、
柳取崇之さん、安達俊明さん、長谷川正実さん、
中條克俊さん、松永隆夫さん、落合孝夫さん、
長谷川徹さん、渡部 宏さん、小林卓哉さん、
船越良則さん、石黒良行さん、飯塚一樹さん、
明田川賢一さん、早川滝徳さん

高橋敦様を心より歓迎いたします。

本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

幹事報告

五十嵐博宣 幹事

4月27日分 ￥ 38,000

今年度累計 ￥ 931,000

◎高尾ガバナー事務所より

「地区大会の御礼」

◎次週 5月4日(水)は祝日のため休会です。次の通常例会は 5月11日(水)です。

ニコニコBOX

歸山 肇会長

一日の温度差が大きい日がつづいています。体調には気をつけたいです。

高橋様、卓話ありがとうございます。

吉井直樹さん

三条まつりが行えそうで安堵しています。例年通りにはできませんが、やれる事をうれしく思います。

本日、高橋様宜しく申し上げます。

衛藤泰男さん

去る23日、RACの清掃活動に参加しました。

リサーチコア周辺にはあまりポイ捨てゴミがなく、活躍出来ないまま終了となりました。

若槻八十彦さん

寒暖差が激しいので体調に気をつけて下さい。

高橋様、卓話よろしく申し上げます。

渡辺良一さん

モモ、ブドウ、ハナミズキ、新潟のベストシーンですね！

高橋敦様、卓話よろしくお願ひ致します。

5月のお祝い

◎会員誕生祝

8日 菊池 渉さん
17日 松永一義さん
20日 落合孝夫さん
21日 若槻八十彦さん
22日 明田川賢一さん
28日 吉井直樹さん



◎夫人誕生祝

4日 飯塚みどりさん (一樹さん)
15日 明田川みゆきさん (賢一さん)
16日 歸山 敬さん (肇さん)
27日 寒河江尚子さん (勝俊さん)
28日 小林仁美さん (卓哉さん)

◎結婚記念祝

1日 近藤雄介さん (律子さん)
2日 若槻八十彦さん (由美子さん)
3日 五十嵐博宣さん (美和さん)
5日 小越憲泰さん (百合子さん)
8日 佐野勝榮さん (美知子さん)
20日 菊池 渉さん (まゆみさん)
27日 中條克俊さん (恵美さん)

「卓 話」

「県央地域の経済動向について」



三条信用金庫 地域経済研究所
所長 高橋 敦 様

1. 売上高増減DIの推移(3年間)

○売上高増減指標では、令和2年5月を底に、持ち直しの動きが続いている。ただし、この所勢いは弱い。

コロナ禍の影響が出始めた2年前の3月から落込みは激しくなり、その年の5月に底を打ちました。そこから持ち直しの動きが続き昨年の3月に漸く水面上に出ました(対前年売上高が増加している先が多い状態になる)。対前年比売上高は前年が低調であればその反動で上向き性質のものであり、この2月までは前年が水面下でしたので、その反動もあり水面上を維持しております。その流れを受け3月も前月比+8Pで+17% Pとなりましたが、昨年が2月と3月の差が+24Pあったことに比較して勢いは弱いという印象です。春物需要が出て物の動きが活発になる時期にしては、やや弱い動きの様に感じております。

2. 業種別売上高対前年増減比率(平均値)の推移

(1年間)

○直近1年間はプラスの水準が続いている。特に利器工匠具、作業工具、鉄鋼卸が堅調に推移している。

(上の表の右端)3月の全業種の平均は+0.5%と先月より▲1.1 P悪化、3ヵ月連続で伸び率が鈍化しております。下の表、業種別ではプラスが7業種、マイナスが5業種と前月よりプラスが1業種減っております。プラスとなっている業種の中では利器工匠具と鉄鋼卸、作業工具が安定しておりますが、多くの業種で伸び率の鈍化が認められます。業者数の多いプレス加工も自動車部品関連で受注が不安定との声が多く、一部に大きく落ち込んだ先もあるため売上高が▲1%と減少に転じております。1年前の2月までは、全業種平均は1年間マイナスが続き、プラスチック製品製造業だけが、巣ごもり需要を取り込んで好調を持続させておりました。プラスチック製品はこの所その反動が出ていると思われま

3. 業況判断DIの推移(3年間)

○足元の景況感は今和2年4月を底に、1年間で水面まで浮上。その後、水面を挟んで一進一退の状況が現在まで続いている。

2年前のコロナショックによりまして景況感は一気に悪化、その年の4月に底となりました。ただ、この度のショックに際しては、政府・自治体が各種の補助制度や融資制度を総動員したため、回復は早く当地は1年で水面(「良い」と「悪い」が同数でDIが±0となる水準)に戻りました。ただ、その後足踏み状態がほぼ1年間続いております。

3月の足元の業況判断DI(実線の折れ線グラフ)は、前月より+7Pで±0% Pと改善、再び水面上に戻りました。先行きについても、前月比+3Pで▲7%Pと小幅に改善しております。

ただし、供給制約による原材料価格などの上昇と品不足は続いております。それに加え、ウクライナ危機の長期化が予想され、もう一段の資源価格の高騰、そして急激な円安進行など受注面や収益性において、懸念材料が山積しているため、足元はまだしも、先行きが見通せず、停滞感が強まっているように感じております。

4. 業種別業況判断DI推移(製造業、3年間)

○製造業の中では、景況感において、この所作業工具と利器工匠具が安定的な推移が続いている(景況感が良いとする事業者が多い)。プラスチック製品は以前のような勢いは感じられない。

業種別で足元の数値は、作業工具が前月比+2Pで+27% Pと横ばいながら一番高く、次に利器工匠具が+21%で続いております。事業所数の多いプレス加工は前月比+16Pで+5% Pと改善が見られます。自動車部品関連以外で、春先で建築金具や農機具部品、アウトドア関連、生活雑貨等が活発に動いております。

5. 業種別業況判断DI推移(非製造業、3年間)

○鉄鋼卸は売上高指標は堅調ながら、景況感には慎重姿勢を崩していない。金物卸はこの所水面下に沈んでいる。

鉄鋼卸は多くの事業者が価格転嫁を実施。それもあって駆け込み需要的な注文もあり、そのため売上高は上がっております。その一方で思うような調達ができないことと先行きの需要減を心配している事業者もあり、景況感には上向かず慎重な姿勢を崩しておりません。金物卸は取引先メーカーからの値上げ攻勢が厳しく、また円安もあり輸入品を中心に値上がり激しく、それを販売価格にスムーズに転嫁できないことより収益圧迫が懸念され、景況感が上向かない要因となっていると思われま

6. 業況判断DIの日銀短観との比較(7年間の推移)

4月1日に直近3月の日銀短観の発表がありましたので、日銀短観の中小企業と当地の直近の業況判断DIと比較いたしました。足元及び先行きの景況感とともに前期(3ヵ月前)に比べ小幅ながら悪化しております。先行きについては当金庫の水準と日銀短観・全国の水準がほぼ同じとなりました。先ほども申しましたが、現下の経済環境を考えると経済の正常化にはもう暫く時間がかかると思われまます。

足元の景況感を含め、底を脱してからの回復過程において、僅かかもしれませんが当地の景況感日は銀短観の全国、及び県を常に上回っております。日銀短観の調査対象の「中小企業」は資本金が200万円以上1億円未満の企業であり、私共の調査対象先に比べ規模の大きい中堅企業に近いレベルです。それを考慮すると当地には元気の良い事業者が相対的に多いと考えられます。

7. 設備判断DIの推移(3年間)

○景況感の回復に伴い投資意欲も上がって来ており、好調な業種では設備投資事例も見られる。ただ、総じてまだ様子眺めの事業者が多い。

3月の設備判断DIは、足元が▲2% Pで前月比+4Pと悪化しております。先行きは▲4% Pで前月とほぼ横ばいの水準です。ここの所一進一退が続いており、多くの事業所がまだ様子見で慎重姿勢であります。

8. 雇用判断DIの推移(3年間)

○コロナショックにより落ち込んだ人手不足感、ここへ来て急速に高まりショック前の水準に近付きつつある。

3月の雇用判断DIは、足元は前月比+4Pで▲17% P、先行は前月比+2Pで▲18% Pとともに水準は下がり、人手不足感は緩和しましたが、基調として人手不足感は強く、コロナ禍前の水準に近付いております。

9. 有効求人倍率の推移(3年間)

○ハローワーク三条管内の有効求人倍率は、この所ほぼ一貫して上昇傾向が続いている。

ハローワーク三条管内の2月のパートを含む有効求人倍率は2.06倍であり、前月より▲0.18 P 下降いたしました。前月の特異な要因はなくなりましたが、有効求人数は高止まりしており2倍をキープしております。巻管内の有効求人倍率は1.66倍であり、続いた上昇傾向が前月足踏みとなりましたが、今回は下降いたしました。

10. 景況判断DIの今回とリーマンショック時との比較

○リーマンショック時からの回復(景況判断DIがプラス領域)は約3年を要した。今回は1年で水面に戻ったものの、そこから停滞している。

先ほども申しましたが、リーマンショックの経験もあり今回のコロナショックでは政府・自治体が各種支援策を総動員したこと、また当地は観光関連の業者数が少ないこと、巣ごもり需要を取り込んだ業種・事業者が多かったことなどがあり、リーマンショック時より底も浅く、立ち直りも早くなりました。

ただし、コロナ禍に伴うサプライチェーンの混乱もあり資源高、品薄状態が1年以上継続しており、価格転嫁の問題もあり企業心理は中々上がって来ておりません。

11. 世界経済及び日本経済の見通し

○IMF(国際通貨基金)は、ウクライナでの戦争が世界経済の成長ペースを大幅に減速させると予測している。

先週の新聞等にも載りましたが、4月19日に最新の世界経済の見通しがIMFより出されましたので、参考資料として作成いたしました。日本経済の動向では日銀短観を重要視しておりますが、世界経済ではこの指標が重要な指標の代表例と考えております。やはり、ウクライナ危機の影響が今後色濃く世界経済に負の影響として出てくる可能性を示唆しております。

次週例会 5月18日 「IM報告」 歸山 肇 会長

次々週例会 5月25日 「地区研修・協議会報告」
西山徳芳 会長エレクト

